



令和7年(2025年)4月1日発行
宇治市政だより
[毎月1日・15日発行]

広報

うじ



特集

夢や希望を育む、 未来創造予算



02 特集

11 紫式部市民文化賞 作品募集

「人間ドック等の受診
補助申請を受け付け」
は、12ページに掲載
しています。

「高齢者向け带状疱疹ワクチンの
定期予防接種が始まります」「高齢
者用肺炎球菌ワクチン予防接種」は、
13ページに掲載しています。

物価高騰への対応（令和6年度補正分を含む）

水道料金の減免 2億4000万円

4カ月分（2期分）の基本使用料、メーター使用料の半額減免 ※詳しくはP13へ

学校給食費高騰への対策 9000万円

物価高騰影響分の値上げ60円を抑制し、1食あたりの保護者負担を維持

農業者への支援 1000万円

生産性向上、効率化等を目的とした資材・機器の導入を支援

低所得者世帯等への支援 12億7000万円

6年度住民税非課税世帯及び6年所得税確定により6年度の調整給付に不足が生じる世帯へ給付金を支給

中小事業者への支援 3500万円

先端設備等導入計画の認定を受けた新規取得設備に対し一部を支援

第6次総合計画の着実な推進



市民等との連携・協働 約4.8億円

市民協働によるまちづくりを目指し、市民・事業者等とのつながりを育み、広げていくための取組を推進

人に優しいデジタル化の推進 約22.2億円

- 証明書手数料等の窓口におけるキャッシュレス決済を拡充
- 申請が困難な人を対象とした居宅訪問によるマイナンバーカードの申請補助を実施

持続可能な行財政運営に向けた取組等 約78.9億円

長期的な施設の維持管理コストの縮減に向け、公共施設の予防保全を計画的に推進



▲市民協働でつくるまちづくりの拠点ワークショップ

夢や希望を育む、未来創造予算

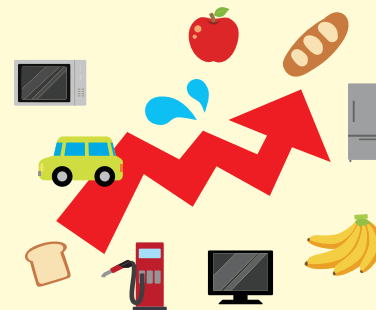
今号の特集では、令和7年度当初予算のうち、重点的な取組等についてお伝えします。
問財政課 ☎20-8715

令和7年度予算の編成方針

市民の皆さまの安全・安心を守り、子どもの夢をはぐくみ、子育て・子育てにやさしいまちを目指し、誰もがいきいきと互いを認め合い支え合って暮らせる共生のまちづくりを進め、輝かしい未来へと発展させていくとの想いを込めて予算を編成しました。

物価高騰への対応

▶ P.3



第6次総合計画の着実な推進

安全・安心

地域共生社会

未来への投資

▶ P.4

▶ P.5・6

▶ P.7



まちづくりの土台となる取組

▶ P.3

令和7年度一般会計当初予算額 841.1億円

（令和6年度補正予算と合わせた予算規模 853.9億円）



宇治市長 松村 淳子

令和7年度は、第6次総合計画の第1期中期計画の総仕上げの年であるとともに、私の市長2期目の本格的なスタートを切る年となります。市民の皆さんの暮らしの「安心」を守り、市民一人ひとりのさらなる「躍動」を促し、将来を見据えて魅力あるまちを「創造」する、この3つの柱のもと、積極的な施策展開を図るため、過去最大規模の予算額となる「夢や希望を育む未来創造予算」を編成いたしました。これまでには芽吹き、動き始めた施策の息吹を感じるとともに、多くの取組が花となり、実を結ぶよう、しっかりと育てつつ、将来の宇治のまちとしてのあるべき姿を見据え、市民生活の安全・安心の確保と、子どもの笑顔があふれ健やかに育ち誰もが住みやすいまちづくりに向け、必要となる施策や事業を計上いたしております。

宇治市を取り巻く社会経済情勢は依然として厳しい状況にありますが、市民や事業者の皆様が喜びや希望を実感できるよう、引き続き、全力でスピード感を持って取り組んでまいります。

子育て・子育て環境の充実 約102億円

乳幼児教育・保育の推進

施設類型を越えて連携・協働し、保育士、教諭等の人材育成及び教育・保育の質の向上を目的として「乳幼児教育・保育支援センター」を開設

公立保育所でのアプリによる欠席連絡・保護者連絡の開始

子育てにやさしいまち実現プロジェクト

▶プロジェクトを全市展開

中宇治・小倉・木幡黄檗エリアで実施していた取組をさらに全市に展開

▶木幡・御蔵山エリアでの新たな取組

プロジェクト事業のさらなる発展に向け、木幡・御蔵山エリアでモデル事業を展開

NEW ●子育てにやさしい商店等の交流を促進

商店と子育て世帯等の連携を通じて、安心して地域で子育てできる環境を整備

NEW ●宇治の森ふれあい体験事業

公立保育所・幼稚園の4・5歳児を対象に、自然を活用した体験型学習を実施

●公園でつなぐ子育てにやさしいまち創出事業

幅広い世代の交流促進を目的とした公園のリニューアルを実施

●歴史文化体験事業

松殿山荘(重要文化財)で、地域文化の理解と愛着醸成を図る取組を実施



▲松殿山荘

子ども達の学びをはぐくむ教育の推進 約109.6億円

NEW 「Ujiふれあい教室」の整備

不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行うため、教室を移転し、新たな活動の場を整備

新たな部活動環境の創出

- 部活動の一部を地域クラブ活動として実践する研究を実施
- 地域人材を活用した部活動指導員を配置

宇治西小倉学園の整備

西小倉地域の小中一貫校の校舎建設工事、サブグラウンドの整備



小中一貫校のイメージ▶

幼稚園預かり保育を拡充

ひがしうじ幼稚園において、夏季等の長期休業期間中に預かり保育を新たに実施

効果的なICT活用の推進

- 欠席連絡、保護者連絡をアプリにより実施
- 学校業務のデジタル化を実施

給食センターの整備

センターの建設工事、中学校の配膳室の整備



給食センターのイメージ▶

重点2

みんなでつくる子育て・子育てにやさしい地域共生社会

災害に強いまちづくり 約82.1億円

災害対応力の強化

▶防災備蓄の充実

食料品・飲料水の備蓄を拡充

▶情報伝達手段の多重化

- 同報系防災行政無線の整備
- 戸別受信機の準備

▶避難所機能の向上

- 電気自動車を増車し、避難所等で活用
- 学校体育館等の空調工事に着手



防災基盤の整備

▶道路や河川、上下水道管路等の強靱化

- 国・京都府等と連携し、道路や河川の計画的な改修

- 上下水道管路の耐震化等を促進

▶木造住宅の耐震改修補助制度の拡充



地域でつくる安全・安心のまち 約16.5億円

空き家対策事業

老朽化した空き家の除却に対して補助を実施

地域安全・安心見守り事業

地域のニーズに基づく防犯カメラを整備

市民と築くゼロカーボンのまち事業

- 住宅の太陽光発電設備・蓄電設備等の補助制度を拡充
- ごみ分別辞典(抜粋版)を全戸配布
- 公共施設の照明LED化



新たな時代に輝く宇治の観光まちづくり 約3.2億円

紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト

▶源氏物語を「深める」

源氏物語ミュージアムでの、特別企画展やVRを活用した体験型講座を実施

▶歴史・文化を「感じる」

歴史・文化を身近に感じ、学びにつながる取組等を実施

▶宇治の魅力を「伝える」

- 食のキャンペーンやキービジュアルマップの作成
- SNSの活用等による魅力発信



▲五感で楽しむ古の文化講座

大阪・関西万博関連事業

大阪・関西万博で宇治の伝統・文化に触れる機会の創出、インバウンド対応、情報発信の充実や産業振興等を実施

天ヶ瀬ダムかわまちづくり

旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地の整備など、天ヶ瀬ダムや周辺資源を活用した周遊観光の活性化を図り、新たな観光需要を創出

重点1

W I T H コロナ・P O S T コロナ
時代の安全・安心

活力あふれる産業振興 約19.2億円

NEW

産業戦略の策定

産業の成長・発展に向けた施策方針を定めるため、産業戦略を策定

中小企業の交流促進

事業者間の取引拡大、新たな技術開発や商品開発を目指し、事業者間の交流や各種セミナーを実施

こども未来キャンパス

地元事業者と連携し、小学生から大学生までの起業・体験スクールを充実



農業を支える取組の推進 約1.6億円

NEW

農業者への低利融資

市内農業者の経営安定と健全な発展を図るために、預託金により、JAが実施する農業者への融資の利率を引き下げ

お茶摘みさんの確保・定着・支援

秋の「手摘み」体験や茶生産者との交流機会により、お茶摘みさんの確保・定着を図る

つながる農地づくり

農地の適切な管理、集積化、効率的な経営を図るため、市内の担い手に農地を貸し付けた農地所有者を支援



地域特性を活かした都市基盤整備の推進 約10.3億円

NEW

近鉄小倉駅周辺地区の整備

近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画のもとに、土地区画整理事業に関する事業計画を作成

自転車等駐車場の利便性向上

JR木幡駅、京阪木幡駅、JR小倉駅の自転車等駐車場を24時間開設

JR 黄檗駅前広場の整備

駅舎のバリアフリー化にあわせた駅前広場の再整備を実施

NEW

山城北部地域の道路ネットワーク整備の促進

山城北部地域の市町が連携・協働し、道路ネットワークの充実に向けた活動を実施

重点3

活力あふれる産業振興と未来への投資

令和7年度組織改編

組織の名称が変わります

・管財課 → 資産活用推進課
・教育支援センター → 教育総合推進センター

乳幼児教育・保育支援センターの設置

全ての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築し、将来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、教育・保育の質の向上に資するため、センターを設置します。

誰もが健康で暮らせるまちの実現 約24.0億円

NEW

带状疱疹予防接種

高齢者等の発症予防を目的に、ワクチンの定期接種を実施
※詳しくはP13へ



うじスマートウェルネスの推進

健康アプリを活用し、運動習慣の動機付けや地域特性に応じた健康づくりを推進

NEW

妊婦歯科治療の助成

出産リスクの低減等を目的に、妊婦歯科健診により治療が必要と認められた人の妊娠期の歯科治療を支援



誰もが住みやすい地域共生社会 約30.3億円

NEW

中宇治地域市民協働推進拠点整備へ調査検討を開始

子どもから高齢者まで世代を超えて様々な人が出会い、つながる場を菟道ふれあいセンター敷地に整備するため、調査検討等を実施

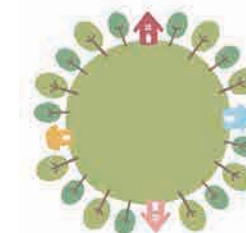
イメージ図▶



NEW

まちの縁がわ促進事業

集会所と公園の一体活用による新たな縁（交流）や、つながりの輪づくりを目指す取組を実施



NEW

北小倉小学校活用の基本設計等を実施

北小倉小学校の既存校舎や体育館等を活用し、西宇治公園との一体的なスポーツ・遊びの拠点を整備するため、基本計画や設計等を段階的に策定

「フライングディスクのまち宇治」の推進

ワールドマスターズゲームズ2027関西の本大会開催に向け、宇治大会を開催



NEW

おでかけ支援実証運行

交通不便地の移動手段確保のため、公共交通ネットワークを軸とした、補完となる新たな移動手段や様々な交通手段との連携・協働を視野に入れた取組を実施

成年後見制度の利用促進

障害者・高齢者権利擁護センターにおいて、市民後見人の養成講座等を開催